

6

家族とのふれあい

家庭でのわたし

家庭は心の安らぎを与えてくれる場です

学年が進むと、勉強や部活動などでいろいろと忙しくなり、家庭で家族と一緒に過ごす時間が少なくなってしまうことが多いと思います。

また、時にはお父さんやお母さんと一緒にいるのがめんどろくなったり、妹や弟と話が合わなくなったりしてくることもあるでしょう。

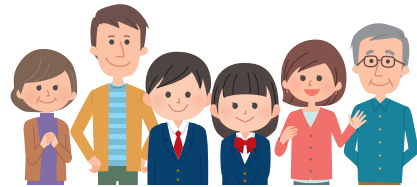
でも、お互いに共通の話題を探して話したり、一緒に食事をとったりしながら、時にはゆっくり家族みんなでふれあう時間をもてるといいですね。



困ったときに助けてくれるのも、励ましてくれるのも家族です。お互いの気持ちを理解し合い、いつも心の通った、明るくあたたかい家族でいるために、日頃から勉強のこと、友だちのこと、進路のこと、など話をしましょう。

そして、3年後の義務教育修了時には、「社会の一員」として立ち立つことができるように、自分で責任をもって行動できるように心がけましょう。

心からくつろぎ、心のやすらぎを与えてくれる場所があるから、私たちは勉強やスポーツをしたり、外で元気に遊んだりすることができるのですね。



品川区では、毎月第1日曜日を「家庭の日」としています。

子どもの“心”に気を配りましょう!!

この時期は、体も心もどんどん成長していき、子どもの成長を楽しむことができます。しかし、思春期まっただ中でもあり、心と体が一番アンバランスに成長する時期です。たとえば、自我の芽生えから、「もう大人だ」という思いと、「このまま子どものままでいて親の庇護の下にいたい」と思う心が共存しています。また、世の中のことに目を向けはじめて、理想を追求したり、些細なことでも深く悩んだり、時には自暴自棄に陥ってしまったりすることもあるのです。

保護者と学校が連携し合いながら温かく見守っていくことが大切です。



大人同士が手を携え、実践しましょう!!

「生命」や「財産」・「人権」への正しい価値観が身に付いていないと、被害者としてばかりではなく、加害者として犯罪に関わることになりかねません。ですから、「だめなものは、だめ」ときちんと教えることが大切です。「人を傷つけてはならない」「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「役割を果たす」といった人として、社会人としての良識やマナーを、我々大人が率先して実践することで、子どもたちも自然と正しい行動の仕方を身に付けていくことができます。

また、学校のPTAという組織を通して大人が繋がるのが大切です。同じ年頃の子どもの持つ親同士だけではなく、先生方や地域関係者とも一緒に活動する中で、地域ぐるみで子どもたちを見守り、健やかに育てていきましょう。